

1 審議会名	上田右岸地域協議会
2 日時	令和5年7月24日 午後1時30分から
3 会場	豊殿地域自治センター 第3会議室
4 出席者	天田委員、上原委員、永本委員、小川委員、金井委員、小林正人委員、小林みゆき委員、駒崎委員、清水悟委員、清水万貴委員、竹内委員、田中委員、橋詰委員、増田委員、宮下委員、柳澤委員、渡辺委員
5 市側出席者	【事務局】星野中央地域振興政策幹、木嶋西部地域振興政策幹、横澤豊殿地域自治センター長、馬場豊殿地域振興政策幹、竹花地域内分権推進担当係長、近藤地域内分権推進担当主査、唐澤地域内分権推進担当主査、腰原地域内分権推進担当主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和5年8月3日

協議事項等

次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項

分科会に分かれて調査・研究

上田右岸地域の課題について

分科会ごとに分かれて意見交換

【第1分科会：教育・福祉・子育てについて】

調査研究テーマについて協議

事務局から、資料「子どもの居場所について」を基に説明

以下、主な意見等

(事務局)子どもの居場所の定義は広く、不登校の子どもの居場所だけに限定されない。

(委員)自分が関わっている子ども食堂は、様々な子どもの居場所で、誰が来てもよい。問題を抱えている状態の子どもは行政でも把握しているが、分かりにくい子どももいる。子ども食堂では、年齢が近い高校生や大学生が話し相手になって、悩みや問題があれば支援につなげている。子ども食堂には行かれるのに、なぜ学校には来られないのかと言う先生がまだにいる。

不登校の子どもは外に出るのも大変で、距離が遠い場合は親の送迎が必要である。

(委員)先日、上田市がこどもまんなか応援サポーターの宣言をしたが具体的に何をするのか見えない。

(事務局)理念的な宣言によって各分野への浸透を図り、具体的な取り組みは今後関連する事業を拾い出していくのではないか。

(委員)「居場所」のことひとつとっても範囲が広い。

(委員)「居場所」を不登校の子ども限定にすると他の人たちをシャットアウトしてしまう。自殺願望のある人の相談に乗る「ゲートキーパー」の役を担っているが、大切なのは説得でなく悩みを聞く姿勢である。

(委員)民生児童委員にも養成講座のお知らせが来るが、自殺を考えている人からの相談は、精神的にも負担が大きく、民生児童委員が一人で抱え込むことも多い。

(委員)相談を受けて自分で対応できなければ、対応できる人につなぐことも大切である。自殺を考えている人は、問題の解決策を聞きたいのではなく、苦しい気持ちを聞いてもらいたい。

(委員)相談を受けて、専門家につなぐことが大切である。地域には周りから気づかれず悩んでいる人も多い。今回は、こどもまんなか応援サポーター宣言の担当課の子育て・子育て支援課から説明を聞くこととなった。

【第2分科会：公共施設・事業について】

調査研究テーマについて協議

住宅政策課から「市営住宅の現状と課題」について、資料を基に説明

以下、質疑応答

(委員)思川第二団地はなぜ用途廃止なのか。

(住宅政策課)ハザードマップでもイエローゾーンとなっている箇所であり、老朽化も激しいため用途廃止となっている。

(委員)桜台団地、梅が丘団地がなぜ用途廃止なのか。

(住宅政策課)郊外での立地であること、需要がないことなどが挙げられる。廃止にした後の計画は未定である。

(委員)単身入居は可能か。高齢者の単身入居が多いと聞くが、高齢者の見守り体制を強化してほしい。

(住宅政策課)今年から単身入居も可能になった。体制については検討する。

(委員)積極的に自治会への加入促進を進めてほしい。

(委員)防犯、防災体制の強化をお願いしたい。

(委員)市営住宅内の道路を広くし、駐車場も設けてほしい。

(住宅政策課)民間事業者の圧迫につながることもあるので、事業推進は慎重に検討したい。

(住宅政策課)用途廃止後の跡地利用については、土地が広すぎて民間事業者も手が出せないとのこと。

(委員)市営住宅は、住宅対策よりは福祉対策により近くなっていると感じる。福祉政策として、関係課と連携し重点的に促進してほしい。

(委員)跡地に企業を誘致してはどうか。商工課との連携が重要となる。

(委員)草刈りなどをしっかりと行ってほしい。

(住宅政策課)草刈りは一回の実施に300万円かかり、維持費は膨大である。

(委員)高齢者の入居を考えると、やはり平屋か二階建てが利便性がある。

(委員)連帯保証人が一人必要というのもネックになっているのではないか。

(住宅政策課)社会福祉協議会の連帯保証人も可能になり、保証人がいなくても入居が可能となっている。

【第3分科会：建設・産業について】

調査研究テーマについて協議

豊殿デマンド交通の取り組みについて、委員からの主な意見

- ・収入支出について課題がある。継続していくには行政の支援が必要である。
- ・予約システムを導入して効率的な運用をしていきたいが難しい。
- ・現在は豊殿地区内の運用だが、利用者からは他地区への移動支援もお願いされている。
- ・民間業者の理解や連携が必要である。
- ・民間バスを使用したいが使い勝手が悪い。
- ・バス停の位置がわからない。行先案内が不親切（どこ行きなのか、どこで降車したらよいのか）。
- ・バスを待っている間の待合所がない。
- ・公共交通機関について利用しやすくするには、どうしたらよいのか協議を続けていく。

4 事務連絡

【次回】 第5回

日時：8月28日（月）午後1時30分～

場所：中央公民館

5 閉会